

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題  
(必修・酪農機械学)

**【出題の意図】**

本試験は、学生が有機性廃棄物の資源循環および再生可能エネルギー利用に関する基礎的理解をどの程度体系的に習得しているかを評価することを目的とした。

問題1では、「好気性発酵（堆肥化）」を適正に実施するために必要となる条件（炭素と窒素比、水分、温度、通気性、副資材の役割、微生物活性など）について説明させることで、堆肥化プロセスの科学的原理と管理要因の因果関係を理解しているかを明らかにする。加えて、農業現場における適切な堆肥化管理が環境負荷低減や地域資源循環に及ぼす影響を理解しているかを確認する。

問題2では、関連する基本概念（カーボンニュートラル、再生可能エネルギー、FIT制度、メタン発酵、消化液、温室効果ガス、戻し堆肥、水分調整材、スマート農業、バイオマス）から任意の語句を選択し簡潔に解説させることで、学生が分野横断的な用語を正確に理解し、自らの言葉で要点をまとめる能力を評価する。特に、バイオマス利用、循環型農業、エネルギー政策、脱炭素化といったテーマに関連する基礎概念の整理と、それらの相互関係の理解度を把握する意図がある。

以上により、学生が講義で学んだ内容を体系的に整理し、資源循環・再生可能エネルギー分野における基礎知識を専門的かつ応用的観点から説明できるかを総合的に評価する。